

<小学校国語部会>

I 研究主題

「確かな言語能力を培うための指導と評価の工夫」

—少人数学習集団による「読むこと」の指導を通して—

II 研究の概要

言語環境の急激な変化に伴い、様々な学習場面で児童の「読むこと」についての課題が指摘されている。平成14年度に東京都教育委員会が実施した基礎的・基本的な内容の定着に関する小学校4年生の国語の調査結果でも、内容理解の項目の「文章を正しく読むことができる」が63.8%と昨年度の調査に比べて低下している。

「読むこと」の基礎・基本の定着を図るためには、課題をもって読み深めたり、読書に意欲的に取り組んだりするような自己学習力の育成が重要となる。そのために、集団としての学び合いを生かしながら、より個に応じた学習を支援する必要がある。ここに複数の教師による少人数学習集団の指導を行う意義がある。

そこで、小学校国語部会では、「読むこと」の学習過程のどの段階で少人数学習集団を編成することがより効果的な学習につながるかを明確にするとともに、評価方法の工夫・改善を行い、個々の学習状況に即したきめ細かな指導の在り方を実証的に追究した。

III 研究の内容

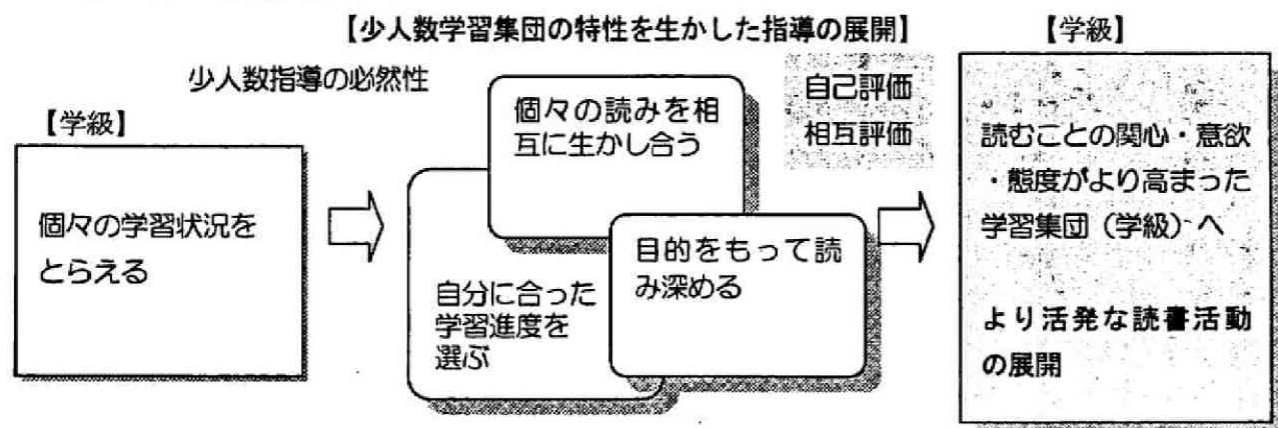
1 少人数学習集団を生かした「読むこと」の指導の基本的な考え方

「読むこと」を通して、言葉と豊かに出会い、読む楽しさを感じ、幅広く読書をする態度を育てることが大切である。こうした中で読書を通して考えを広げたり深めたりする児童を育てることが国語科の課題と考える。

そのためには、学級の中で、自ら読み深めたことを相互に生かし高め合うことができる学習集団を編成することが重要である。学習状況に応じた少人数学習集団を弾力的に編成することによって、その特性を生かし、きめ細かい「読むこと」の指導が可能になると考え、次の視点で研究を進めた。

- (1) 教材や学級の実態に応じて、「読むこと」の指導過程のどの段階にどのような少人数学習集団を編成すれば自己学習力を育成できるかを明確にする。
- (2) 「読むこと」の基礎・基本の定着を図るため、育てたい力を明確にした評価規準を設定し、指導と評価の一体化を図り、学習状況に応じた指導方法の工夫・改善を行う。

<個に応じた指導改善の視点として>



2 年間指導計画に基づく単元の評価規準の設定と「読むこと」の指導

まず、「読むこと」の力をはぐくむ目標と評価規準の設定が必要となる。その上で、学習状況に応じて、年間指導計画に修正を加えながら、繰り返し適切な指導をすることが重要である。

このことによって、少人数指導の必然性をとらえ、段階的に「読むこと」の定着を図りたいと考える。

「読むこと」の系統的な指導と少人数学習集団を位置付けた年間指導計画の作成

年間指導計画に基づく単元の評価規準の設定

- 評価規準の設定に当たっては、2学年のまとまりで示された「読むこと」の指導事項を踏まえて目標設定し、目標を実現するための言語活動を評価する評価規準を設定する。

児童の言語能力の実態に応じて、少人数学習集団での学習を単元の指導過程のどこに位置付けることが効果的かを考慮する。

【導入の工夫】学習目標の設定：終末の言語活動と結び付けた目標の設定

- 学習状況に応じた個々の読む力の育成課題を明確にし、指導の類型化を図る。

【少人数指導の必然性】自己学習力を高める（◆少人数学習集団の数は学習状況と指導者数による）
自らの学習状況の振り返りと教師の支援によって編成する。

- 学習進度に応じた編成（事例1）
- 学習課題を選択する編成（事例2）

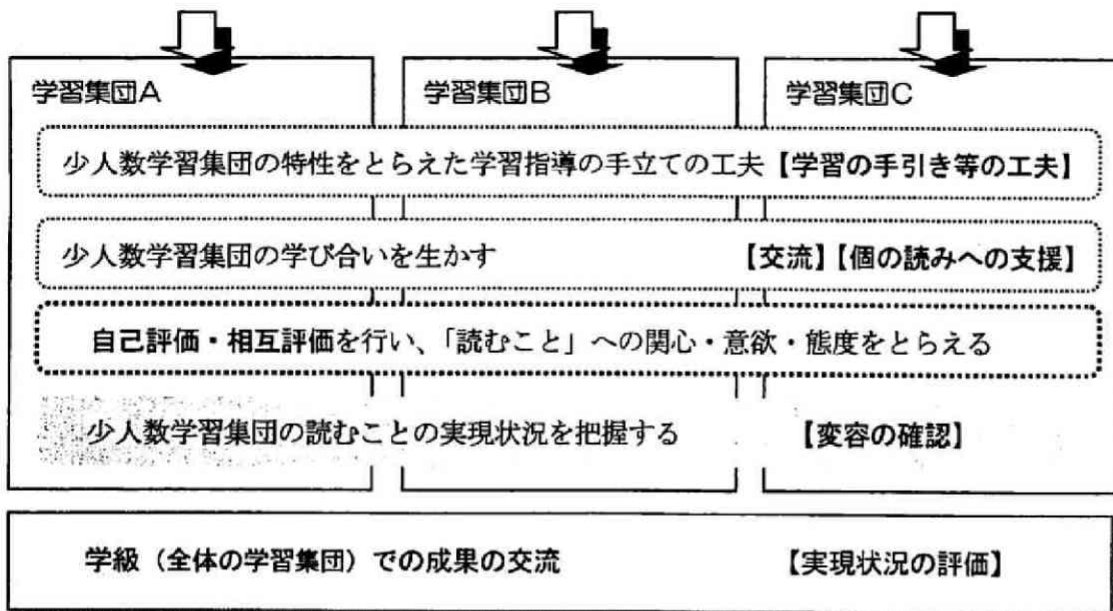
学習活動に即した具体的な評価規準の設定

(ア) 読むことの段階的な変容をとらえる評価規準の設定

(イ) 読み深める意欲の高まりをとらえる評価規準の設定

(ウ) 言語についての知識・理解・技能をとらえる評価規準の設定

読む力の育成に向けた指導と評価の一体化

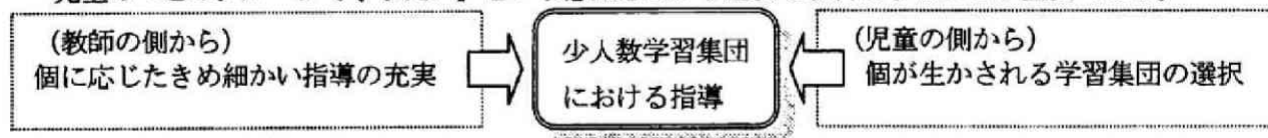


- 単元の指導過程に沿って、段階的に『学習活動に即した具体的な評価規準』を設定する。
 - (ア) 読むことの段階的な変容をとらえる評価規準を設定する。
 - (イ) 読み深める意欲の高まりをとらえる評価規準を設定する。
 - (ウ) 言語についての知識・理解・技能をとらえる評価規準を設定する。
- 育てたい読む力の実現状況を適時とらえながら、読みの実態に即した指導を行う。

3 少人数指導の必然性をとらえた「読むこと」の指導

(1) 少人数指導の必然性

児童の「このグループで学びたい」という意識を生かす適切な助言をすることが重要である。



(2) 読みへの高まりをとらえた少人数学習集団の編成

学習進度に応じた少人数学習集団の編成

【事例1】説明的文章：「動物と人間とのかかわりをパンフレットにまとめよう」（第3学年）

学習進度の差異をとらえ、同じような学習状況をもつ少人数学習集団を編成し、個に応じたきめ細かい指導を行うことによって「読むこと」の力を高める

- 学習の進み具合に個人差が認められる場合、等質の少人数学習集団での学習の必然性が生まれる。
- 編成した学習集団の特性を生かし、読むことの意欲を高める。
- 自己評価や相互評価を生かし、自らの変容をとらえる。
- 全体に戻って学習の成果を交流することによって、学級の学習集団としての力が育成される。

<学習集団の特性をとらえた指導の工夫>

- 読み深めるための重要語句や文をとらえる工夫をし、児童の実態に即した補充的な指導を行う。
- 読みの実態に応じ、発展的な課題に挑戦する指導を行う。
- 少人数学習集団内における学習内容の交流と児童相互の高め合いを重視する。

読み深める学習課題を選択する少人数学習集団の編成

【事例2】文学的文章：「私の課題で語り合おう ー海の命ー」（第6学年）

学習課題を選択し、同じような課題をもつ少人数学習集団を編成し、読み深め合うことによって、「読むこと」の力を高める

- 初発の感想から共通課題を設定する。
- 互いの考え方のよさや違いに気づき、高め合うことができるように指導の工夫をする。
- 全体に戻って学習の成果を交流することによって、学級の学習集団としての力を育成する。

<学習集団の特性をとらえた指導の工夫>

- 共通課題を生かし、個々の読み深める学習課題を設定する。
- 個別の支援計画を立て、指導助言を行う。

(3) 少人数学習集団内での相互交流

- 目的意識の共有化を図り、自ら読み深める学習力を育てる。
- 相互にかかわり合い高め合う言語活動を支援する。
- 少人数学習集団での発表や意見交流等の中で学習の成果を確認し合う。
- 自己評価・相互評価を活用し、変容を確認し合い次時への学習課題をとらえる。

IV 指導事例

【事例1】 1 単元名 「動物と人間のかかわり」をパンフレットにまとめよう (第3学年)

2 単元の目標 人間を元気にする動物の力をパンフレットにまとめるを通して、動物と人間のかかわりを読むことができる。

3 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
パンフレット作りを通し動物と人間とのかかわりに興味をもち、動物に関する本を進んで読もうとしている。	人間を元気にする動物の力をパンフレットにまとめるために、動物と人間との具体的なかかわりある語句や文をとらえながら読んでいる。	文や段落の関係を示す手がかりとしての指示語や接続語の役割を理解している。

4 単元の指導計画・評価計画 (9時間扱い)

時	主な学習活動			学習活動に即した具体的な評価規準
1	「動物と人間のかかわり」を読み取り、パンフレットにまとめようという目当てをもつ。 人間を元気にする動物の力をパンフレットにまとめて伝えよう			(関) 学習の目当てをもって読もうとしている。
2	1・2段落を読み、昔からの動物と人間のかかわりをつかむ。			(読) 問題提起文をとらえている。
3	人間を元気にする力をもつ動物たちの例① (ハムスターとおじいさんのかかわり)を読み取り、パンフレットにまとめる。			(知) 文や段落の関係を示す手がかりとしての指示語や接続語をとらえている。 (関) 人間を元気にする動物の力を読み取るために学習集団を選択し、学習の見通しをもっている。
4	人間を元気にする力をもつ動物たちの例② (犬とボールをつかって遊ぶこと)を読み取り、パンフレットにまとめる。			
5	さらに深く読み取るために少人数学習集団を選択する。			
6	どんだんグループ	すくすくグループ	ぐんぐんグループ	
7	<ul style="list-style-type: none"> 人間の心により作用を与える動物とのふれあいの例を読み取り、パンフレットにまとめる。 まとめたことを交流する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">発展的課題</p> <p>前書きなどを書き、パンフレットの構成を充実させる。次の段落以降の筆者の考えをまとめる。 「たとえば」を使って事例を付け加え、内容を充実させる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 手がかりになる重要語句や文を確認する。 人間の心により作用をあたえる動物とのふれあいの例を読み取り、パンフレットにまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 友達のパンフレットを読み合って交流する。 「たとえば」を使って事例を付け加え、内容を充実させる。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 音読し、内容を確認する。 手がかりになる重要語句に線を引き、発表する。 人間の心により作用をあたえる動物とのふれあいをビンゴゲーム形式のパンフレットにまとめる。 できたパンフレットを読み合う。 	
少人数学習	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 20px; display: inline-block;"> <p>どのグループも「学習の手引き」や「ヒントカード」を使い、学習を進める。</p> </div>			
8	・筆者の考えを読み取り、感想を書く。			(読) 筆者の考えをとらえ、感想にまとめている。
9	・作ったパンフレットをもとに、友達に「動物と人間のかかわり」を伝える。			(関) 友達のパンフレットのよいところを見付けようとしている。

5 本時の学習指導 (6時間目)

(1) 本時のねらい 相互に交流しながら、人間の心によい作用を与える動物とのふれあいを読み取り、パンフレットにまとめることができる。

(2) 本時の学習と評価

ぐんぐんグループ	
主な学習活動	○指導事項
1 既習部分を音読し、本時の目当てを確かめる。 何が人間の心地よい気持ちをもたせるかを読み取り、パンフレットにまとめよう。	自分で「学習の進め方手引き」を見ながら進められるね。
2 5・6段落を音読する。	○「学習の手引き」を参考にして進めさせる。
3 手がかりとなる重要な語句や文をさがし、サイドラインを引く。	○重要語句のカードを使いながらピンゴシートにまとめさせる。
4 サイドラインを引いたところをもとに、二人組みで話し合いながら、重要な語句を確認する。 ・犬が部屋に入ると… ・犬をなでると… ・犬の頭をなでてやれば… ・犬の体にさわれば…	○学習の手引きを参考にさせる。
5 ピンゴシートに、人間の心によい作用をあたえるかかわりをまとめる。	○振り返りカードに記入させる。
6 パンフレットを読み返し、学習の振り返りをする。	

<3つの評価の観点>

- 1 (読) 人間の心によい作用をあたえるかかわりを読み取り、重要語句や文を書き出している。
- 2 (知) 他の児童のまとめ方のよさを学び合っている。
- 3 (関) 読み取ったことともに意見交流をしようとしている。

<ピンゴシート>

大事な語句を見つけて、つなげてみよう。

動物	動物	動物
↓	人間が	↓
どうなる	↓	どうなる
↓	↓	↓
どうなる	↓	どうなる

動物とくらす
人間を「元気にする力」がわかる大切な言葉や文を見つけてまとめよう。

すくすくグループ	
主な学習活動	○指導事項
1 既習部分を音読し、本時の目当てを確かめる。	
2 手がかりとなる重要な語句や文をさがし、サイドラインを引く。	○「見つける」ヒントカードを準備する。
3 確認し話し合う。	
4 パンフレットに、人間の心によい作用をあたえるかかわりをまとめる。	○「まとめる」ヒントカードを準備する。
5 人間を元気にする力をもつ身近な事例をまとめる。	○学習の手引きを参考にする。
6 パンフレットを読み合い交流する。自己評価をする。	

どんどんグループ	
主な学習活動	○指導事項
1 5・6段落を音読する。	
2 手がかりとなる重要な語句や文を探し、パンフレットにまとめる。	
3 まとめたパンフレットについて発表し、よい点を見つけて話し合う。	○「次」の課題に進めて楽しいな。
4 3つの学習課題の中から選択し、学習を進める。	

①「たとえば」を使って事例を付け足す。
 ②筆者の考えをまとめる
 ③前書きや目次を作る。

6 児童の変容と指導の成果と課題

少人数学習集団の編成

これまでの学習の振り返り（音読はすらすらできたか。重要語句が指摘できたか。自分の力でまとめられたか。学習時間が十分か。）とこれからの少人数学習集団ごとの学習方法・手順（学習の手引き）を踏まえ、選択する。

	少人数学習集団 A (とんとんグループ)	少人数学習集団 B (すくすくグループ)	少人数学習集団 C (ぐんぐんグループ)
学習集団の 特性	人間を元気にする動物の力を 読み取るための重要な語句を とらえ、さらに、発展的な課 題に挑戦する児童 * 振り返りカードに◎が多 い。 * 発展的課題に挑戦したい。	人間を元気にする動物の力を 読み取るための重要な語句を とらえ、時間をかけ、まとめ る児童 * じっくり読み深めたい * 丁寧に仕上げたい。	個別に教師の支援を受けなが ら読み進める児童 * 先生と一緒に読み進めた い。
指導の 手立て	・重要語句を確認し、パンフ レットのまとめを一人で進 めさせる。 ・筆者の考えをまとめさせ、 意見交流の場をもつ。 ・発展的な課題を選択し、パ ンフレットの充実を目指さ せる。 学習の手引き、ヒントカー ド、教師作成の見本パンフ レット、動物との交流が書 かれた図書	・重要語句を確認し合う。 ・相互に交流しながら、パン フレットにまとめさせる。 学習の手引き、ヒントカード	・正しく音読させる。 ・語句をとらえ、文の構成を 理解することのできるビン ゴゲームをさせる。 ・ワークシートに視写し、段 落の要旨をまとめる。 学習の手引き、ヒントカード ビンゴゲーム学習シート
児童の変容	動物のもつ人間を元気にする 力を読み取り、感想をパンフ レットに書くことができる。	動物のもつ人間を元気にする 力を読み取ったという達成感 をもち、発展課題に取り組み たいという意欲が高まる。	ビンゴゲームを通し、語句や 文を基に教材を読み取ること ができるようになる。
指導の成果 と課題	○一人一人の個性に着目し、 より自信をもつように適切 に評価し、自己学習力を高 めるように支援する。	○成果を認め、学級に戻った 際、自信をもって、読み深 めることができるよう指 導・助言する。	○学級ではとらえることので きない個々の支援の課題を とらえることができる。 学級でのきめ細かい指導が 可能となる。
少人数学習 に対する児 童の思い	* 人数が少なく、質問しや すい。 * 友達の考えが自分と同じ で、自信がもてた。 * 発展的な課題を自分の力で やれたので、自信がついた。	* 人数が少なく、質問しや すい。 * あせらないで仕上げられ た。 * 自分の考えた重要語句が友 達と同じで、自信がついた。	* 分からない言葉がなくな り、本文がよく分かるよう になった。 * 重要な語句が分かった。 * 2人で相談しながらやった ので、早くできた。

考察： 学級の中では、発言の少ない少人数学習集団Cの児童が生き生きと活動することができた。

その中で、これまで気付きにくい一人一人の指導の課題が明確となった。

少人数学習集団A、Bの児童は相互に啓発し合い、より進んで学習を進めようとする意欲をもつことができた。

【事例2】1 単元名 私の課題で語り合おう—海の命— (第6学年)

2 単元の目標 太一の成長を読み取り、「命」について自分考えを深め、意見交流会をすることができる。

3 単元の評価規準


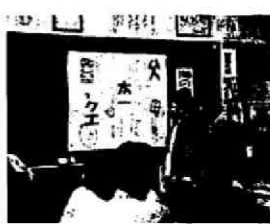
関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・太一の成長や、周りの人々の生き方・考え方をとらえる中で、「命」について自分の考えをもち、意見交流会に参加しようとしている。	・太一の成長や、それにかかわる人物の心情や生き方・考え方をとらえ、「命」について自分の考えを明確にしながら読んでいる。	・叙述に着目し、語感や言葉の使い方に関心をもっている。

4 単元の指導計画・評価計画(10時間扱い)

時	主な学習活動	学習活動に即した具体的な評価規準						
1	全文を読み、初発の感想をもつ。 一番強く心に残った事を短い言葉でまとめる。	(関) 初発の感想をまとめようとしている。						
2	全文を通読し、初発の感想を整理する。 共通課題をもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">太一の成長を読み取り、命について考え意見交流会をしよう</div>	(読) 太一の成長を読み深める課題を理解する。 (関) 意見交流会への見通しをもっている。						
3	各場面を音読し、手がかりとなる重要語句をとらえる。	(知) 手がかりとなる重要語句をおさえている。						
4	読み取ったことを基に意見交流をする。							
5	読み深める手がかりとなる少人数学習集団を選択する。							
6	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 33%;">「海の命」追究グループ</th> <th style="width: 33%;">「もりをうたなかつた太一」読み深めグループ</th> <th style="width: 33%;">「太一の成長物語」朗読グループ</th> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「海の命」とは何だろう。 ・なぜ、クエのことを生涯だれにも話さなかったのだろう。 * 立松和平語録集や「山の命」を読む。 </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、太一はクエをうたなかつたのか。 ・なぜ、太一はほほえんだんだろう。 * 4種類のヒントカードから読み深める方法を選択する。 </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・太一の夢って？ ・自由な世界とは何？ * 太一を支える人たちとの関係をおさえ、朗読に生かす。 </td> </tr> </table>	「海の命」追究グループ	「もりをうたなかつた太一」読み深めグループ	「太一の成長物語」朗読グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・「海の命」とは何だろう。 ・なぜ、クエのことを生涯だれにも話さなかったのだろう。 * 立松和平語録集や「山の命」を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、太一はクエをうたなかつたのか。 ・なぜ、太一はほほえんだんだろう。 * 4種類のヒントカードから読み深める方法を選択する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・太一の夢って？ ・自由な世界とは何？ * 太一を支える人たちとの関係をおさえ、朗読に生かす。 	(読) 村一番の漁師になった太一について、自分の考えをもっている。 (関) 友達の考えと、自分の考えの相違に気付いている。
「海の命」追究グループ	「もりをうたなかつた太一」読み深めグループ	「太一の成長物語」朗読グループ						
<ul style="list-style-type: none"> ・「海の命」とは何だろう。 ・なぜ、クエのことを生涯だれにも話さなかったのだろう。 * 立松和平語録集や「山の命」を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、太一はクエをうたなかつたのか。 ・なぜ、太一はほほえんだんだろう。 * 4種類のヒントカードから読み深める方法を選択する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・太一の夢って？ ・自由な世界とは何？ * 太一を支える人たちとの関係をおさえ、朗読に生かす。 						
7	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・引用文を基に意見交流する。 ・考えをまとめる。 </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・手がかりとなる重要語句をおさえ交流する。 </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・太一とまわりの人との関係の言葉をおさえ交流する。 ・朗読に生かす。 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・引用文を基に意見交流する。 ・考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手がかりとなる重要語句をおさえ交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・太一とまわりの人との関係の言葉をおさえ交流する。 ・朗読に生かす。 				
<ul style="list-style-type: none"> ・引用文を基に意見交流する。 ・考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手がかりとなる重要語句をおさえ交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・太一とまわりの人との関係の言葉をおさえ交流する。 ・朗読に生かす。 						
8	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・他の和平作品を読む。 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・他の和平作品を読む。 						
<ul style="list-style-type: none"> ・他の和平作品を読む。 								
9	学習を振り返り、「私の課題で語り合おう—海の命—」の発表原稿をまとめる。	(読) 読み取ったことを基に自分の意見をまとめる						
10	意見交流会をする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">「私の課題で語り合おう—海の命—」</div>	(関) 友達の違った視点に気付いている。						

5 本時の学習指導（6時間目）

- (1) 本時のねらい 読み取った根拠を明確にして、自分の言葉でまとめることができる。
 友達との意見交流の中で相違点に気付くことができる。
- (2) 本時の学習と評価

「もりをうたなかつた太一」読み深めグループ ヒントカード学習方法で読み深める、交流する		「太一の成長物語」朗読グループ 関係図を作る、交流する、読書活動	
主な学習活動	○指導事項	主な学習活動	○指導事項
1. 課題を確認する。 2. 5の場面を音読する。 3. 4種類のヒントカードから自分の学習方法を決める。	太一の成長を読み取ろう ヒントカード吹き出し編 	1. 課題を確認する。 2. 全文を音読する。	太一の成長を支える人たちの心情をとらえて朗読をしよう
④ 吹き出し編 ③ インタビュー編 ② 図表編 ① 心情曲線編 ヒントカード	<2つの評価の観点> 1 (読) 読み深める根拠となる文をおさえて考えをまとめている。 2 (関) 意見交流の中で他の相違に気付こうとしている	3. 登場人物と太一のかかわりを重要な語句をおさえて、関係図を作る。 3. 交流する。 4. 太一にかかわる人物の心情が表れるよう朗読を工夫する。 5. 学習を振り返る。 6. 他の和平作品を読む。	○父、母、与吉いさ、クエと太一の関係をつかむ言葉をおさえる  ・評価カード ・和平作品読書カード

「海の命」追究グループ 読書活動、根拠にする引用文の活用、交流する	
主な学習活動	○指導事項
1. 課題を確認する。 「海の命」とは何だろう	○手がかりとなる重要語句をおさえ、自分の考えをもてる。 ○自分の考えをより伝えるために、引用文を使うことができる。
2. 立松和平語録集や作者の他の作品を読む。 ・作品から心に響く文章を抜き出す。 ・理由を付け加えてまとめる。	「海の命」 六の二 ぼくは、初めてこのお話を読んだ時、海と人間がうまく調和しているなと思った。そして、「海の命」をもっと考えてみたいと思っ と思って「私の課題」にした。 「千匹に一匹をとればいい」という与吉いさの生き方に感動した。この言葉は「豊 沃な海対馬」にもでてきて、豊かな海の証 したと思う。 太一は与吉いさに教えられた「千匹に 一匹でいいんだ。」という言葉によって無だ に魚をとらなかつた。それで最後に大魚を 殺さずにすんだ。海の命とは、海に生きる すべての生き物をさし、僕たちが生きてい く命のメッセージだと思っ 私の課題＝海の命って何だろう。 考えの根拠のキーワード＝千匹に一匹
3. 交流する。 4. 「海の命」の全文を黙読する。 5. 「海の命」について自分の考えの根拠となる重要語句をおさえる。 6. 評価カードで学習を振り返る。	

6 児童の変容と指導の成果と課題

	「海の命」追究グループ	もりをうたなかつた太一 読み深めグループ	「太一の成長物語」朗読グループ
学習集団の特性	<ul style="list-style-type: none"> 何をどのように学習していくかを児童に十分理解させた上で、読み深めるテーマを確認させ、共通する学習課題ごとに少人数学習集団を選択させた。 		
指導の手立て	<ul style="list-style-type: none"> ○初発の感想でテーマに迫るような読み取りができていた児童 ・和平語録や他の作品と比較読みさせて自分の課題に迫らせていった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○物語を読むことに興味はあるが深く読み取りが必要な児童 ・ヒントカードを使いながら学習方法を選択させていった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○初発の感想が感性に富んでいるが本文の言葉にこだわらない児童 ・朗読を目的として、太一の人物像に迫らせていった。
児童の変容	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題に十分に時間をかけて読み深めることで、生き生きと学習を継続することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み取った人物像をまとめ、自信をもって発表できるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物語の人物像を会話や行動から説明できるようになった。 ・朗読に自信をもつことができた。
指導の成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交流するときは、根拠となる文や語句を示し、意見を述べ合う必要がある。 →対象となる語録集や他の作品を共有できるよう配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習方法によって作業時間に差がある。交流する時間を確保することが課題である。 →一人一人の学習状況を分析し、的確に助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表する児童と聞き手回る児童が固定化する傾向がある。 →どの児童にも発表の機会を与え、適切に評価し、自信をもたせる必要がある。
少人数学習に対する児童の思い	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題解決に向けて時間を使うことができるので、じっくり教材を読み、考えをまとめることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み深める途中で、友達同士で相談できるため、自分の考えを確認し、学習を進めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の助言によって、自信をもって自分の意見や考えを発表することができた。

考察：

初発の感想から共通課題を設定し、児童一人一人が読み深める方法を選択することは自己学習力の育成につながる。特に物語文の読みにおいては、個々の主人公への思いを生かし、自ら読み深める主題をとらえる力を育てたいと考える。

本事例では太一の成長を読み取り、その読み取ったことに対する感想を「意見発表する力」に高める指導をした。その結果、学級での指導に比べ、少人数学習集団においては発表する機会が増え、十分に意見交流をすることができた。

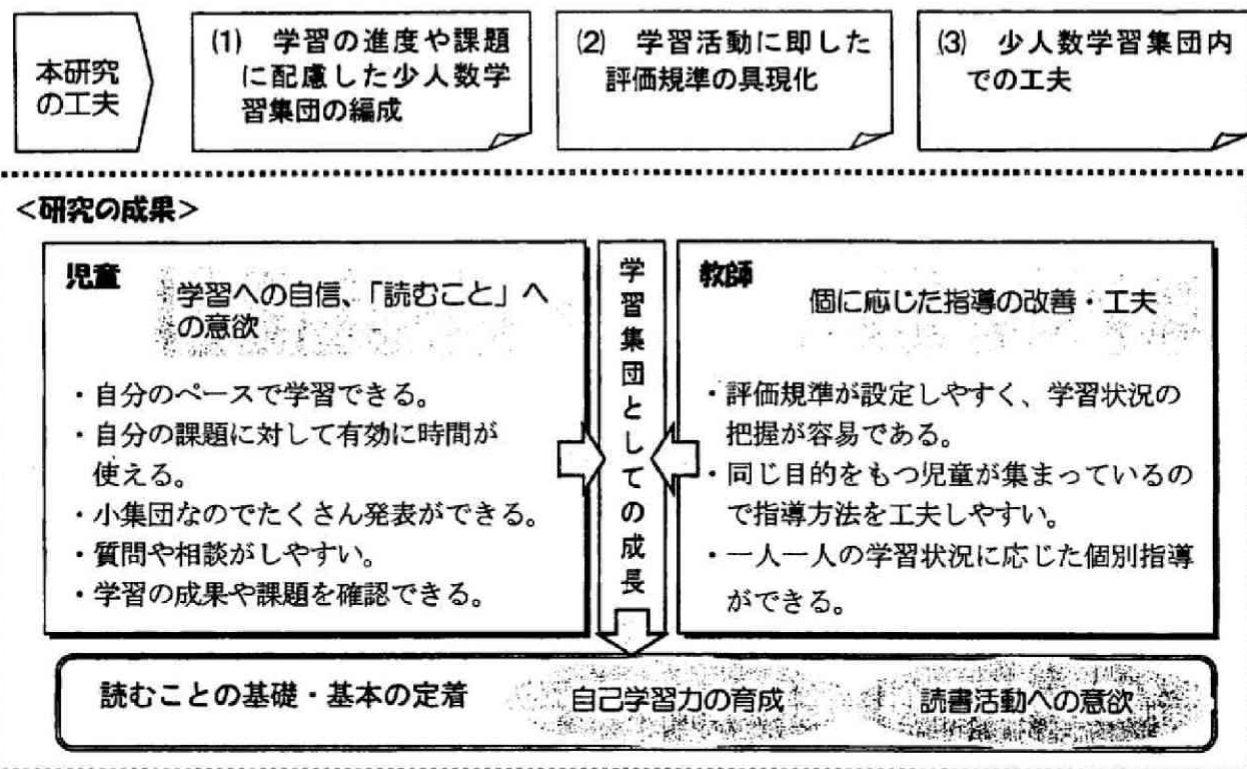
各コースの特性や学習状況によって、支援の内容が異なり指導助言に差が出た。複数の教員同士で十分に児童の変容をとらえ、きめ細かい指導方法の改善・工夫が必要である。

V 研究のまとめ

1 研究の成果として

本研究では、下記に示した点に留意して少人数学習集団を編成し、一人一人の自己学習力を育てるよう努めるとともに、それぞれの集団内で相互交流を十分に行って「伝え合う力」を培いながら「学習集団」としての機能を発揮できるよう努めた。こうした学習活動を工夫することで、児童は、各少人数学習集団内で自信をもち、進んで「読むこと」の学習に取り組もうとする学習意欲を高めることができた。

このことは、「読むこと」の基礎・基本の定着を図ることを一層推進し、また、読書に意欲的に取り組もうとする姿勢を培うことができるものと考えられる。



2 今後の課題として

(1) 複数の教師による教材研究と学習状況の情報交換

一つの少人数学習集団の特性を最大限に生かすためには、複数の教師の教材研究と児童の学習状況に関する情報交換が欠かせない。授業後の打ち合わせと整理・分析の機会を充実させることが重要である。

(2) 多様な学習状況をとらえた少人数学習集団編成

本研究では、「学習進捗」と「学習課題」に対応した少人数学習集団を編成したが、児童の学習状況は極めて多様である。単元や教材、児童の特性によって編成の仕方を工夫する必要がある。

(3) 学校全体の時間割編成の工夫

一つの学校内で少人数学習集団を編成した指導を行うためには、学校全体の時間割編成を工夫する必要がある。また、編成した時間割を適切に進行管理することが大切である。

(4) 学級の「学習集団」としての機能向上

児童は、所属する集団の中でその持ち味を発揮できるものである。編成した集団の集団としての質を高めるよう努めるとともに、より一層、学級の「学習集団」としての機能を高める努力が必要である。

(5) 読むことの意欲の高まりを読書活動へ

少人数学習集団による「読むこと」の指導により高まった読みへの意欲を、日常的な読書活動につないでいくことが大切である。発展的な読書の場を適切に設定していく必要がある。